やっぱり みどり 大好き

第二一号
二〇一〇年十月発行

Topics こんなまちに暮らしたい！

大田区 緑の基本計画、策定中

多摩川六郷水門付近。のどかな風景に多くの人や生き物が和む。

「緑の基本計画」って何？ どうやって決めるの？

『大田区では、平成 11 年度に「大田区緑の基本計画」を策定して以来、みどりに関する様々な施策を展開してきましたが、社会状況の変化とともに緑の現状や、緑施策を取り巻く状況も大きく変わってきています。また、平成 16 年の都市緑地法の改正や新たに策定された大田区基本構想及び大田区 10 か年基本計画「おおた未来プラン 10 年」を受け、計画の見直しを行うこととなりました。』（大田区ホームページより抜粋）

平成 21 年度には区内のみどりの実態調査や区民を対象とした「景観みどり資源アンケート」などの基礎情報の収集及び整理を行い、平成 21 年度秋から 22 年度にかけて、学識者や区民 16 名からなる策定委員による検討や、区民説明懇談会などを経て、22 年度内の策定を目指しています。（策定スケジュールなど詳細は大田区ホームページをご参照ください）

緑の基本計画策定委員会、初の顔合わせは大田区内緑の視察ということで、芝生の校庭からスタート！

大岡山駅前にある東急病院の、大規模な壁面緑化。

大田区のみどりを知ることから始めよう！

緑の基本計画策定委員会には、当会からも2名の委員が出席していますが委員の顔ぶれはとても多彩です。経験豊富な学識者の方々からの先進事例やアドバイスを頂きながら、区民のそれぞれの活動フィールドや個々の関心や研究に基づいた見解を、活発に意見交換しています。

そんな中で、大田区のみどりについて自分たちなりに情報収集をしながら話し合いを進めたい、という自主研究グループも生まれ、策定委員会全体にも呼び掛けを行いながら、活動を行っています。

4 月には池上本門寺周辺の歴史あるみどりを、5 月には区を東西に横切る呑川に沿って8kmを歩きながら、区内散策を試みました。

みどりの「量」だけでなく「質」をも高める時代へ

「こんなまちに暮らしたい」と考えるとき、そのまちの景色を作るみどりはどうあったらいいのか？というのが、策定委員会の課題です。約 70 万の大田区民が暮らす「今」の大田区のみどりも、思い描く「未来」のみどりも、多彩です。

当会では、そんな中で最優先される緑の役割は何か、と考え、「安全」「防災」をキーワードとした「安全緑地」「思いやり緑化」を提案しています。それらを作るのは行政だけでなく、民間企業や私たち区民の役割でもあるはずです。公共緑地の整備など、みどりの『量』を増やすのが「公」の役割であるならば、そうした緑地に人の手を入れ、愛着あるみどりとして彩ることや、ちょっとした工夫で地域にみどりを提供し『質』を高めることは、「民」にもできる取り組みです。双方が連携して、よりよいまちとみどりづくりができることを願っています。

マンションの庭の一部に、外部の人も中に入ることができるようになっている。民間提供の緑のほんの一例。

発行：NPO法人大田・花とみどりのまちづくり　〒144-0051 大田区西蒲田 7-24-7-203　☎03-3734-7932　URL：http://hanamidori.sakura.ne.jp/

気ままに ちょっとまじめに まちあるき

スミレとマメヅタをたずねて～池上本門寺周辺散策～

巻頭ページにて紹介しました「緑の基本計画」策定委員の中に、高校時代に大田区に自生する植物に興味を持ちはじめ、それらが育つ大田区の豊かな環境を未来に残したい！という強い思いで、区内の植物調査を続けている、という大学生のF委員がいます。植物の知識がとても豊富で、区内のみならず、各地の観察を続けていることから、大田区の植物の種類や数が、他地域と比べてどうなのか、といったことにも詳しいのです。

そこで、F委員のガイドのもと、大田区の植物観察会を池上本門寺周辺にて開催しました。やはりガイドがいると、普段は気がつかない、様々な植物を確認することができ、一同大満足。スミレも花が咲き終わったころでしたが、葉の形や大きさなどから見分け方を教わりながら歩きました。

何か発見しては「せんせ～！」と叫ぶ私たち

着生植物「マメヅタ」は胞子の季節

日陰斜面のホウチャクソウ

隙間から生えたスミレ

今回の散策で学んだのは、ヤブ刈りなどの人の手が入る環境に生きる「スミレ」と、むやみに伐採されない、人の手が加わらない環境で生きる「マメヅダ」。どちらも、未来に残すべき大切な大田区の財産ということ。こうした植物の特性の違いを知り、生息環境を守っていくことは、植物だけでなく、そこをすみかやえさ源とする生きものの命を守ることにもつながります。

大田区に今、残されている生きものとその環境を「資源」として大切に守り、復元する手助けのために、もっと学ぶ機会を作っていきたい！と感じました。（牧野）

E加減 de エコライフ

竹（タケ）との楽しい♪付き合い方？！

横浜に「竹の学校」という、竹林の手入れ方法について学べる活動があります。一年間を通して学べることから、遠方からも参加者が多く集まってきます。

竹林の手入れというと、春のタケノコ掘りと秋の伐採というのが一般的のようですが、「竹の学校」では、タケノコ掘りのあとも毎月竹林に入り、竹を楽しみながら手入れし、秋の伐採作業を楽にする、というユニークな手法をとっています。春にタケノコを掘った後、５月頃竹林に入ると、掘り残したタケノコが 2～3mにまで伸びています。その中で、3mくらいに伸びたタケノコを、先端から 1mのところでバッサリと切ります。切り落とした先端 1mの部分は「穂先タケノコ」として楽しみます。「穂先タケノコ」は、アクが少なく柔らかいので、水で20分程で茹であがり、扱いがとても便利です。また、切りのこしたタケノコの下の部分はそのまま残しますが、2週間ほど経つと節と節の間の部分に根から吸い上げた水が溜まることがあり、これは「竹水」と呼ばれ「命の水」とも呼ばれています。若いタケは柔らかくて切るのも楽ですし、秋に伐採する本数も減らせて、一石◎鳥？の管理というわけです。（牧野）

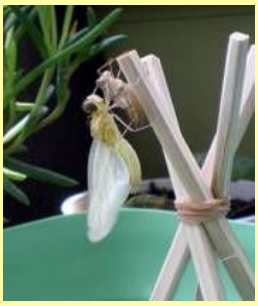
★「竹の学校」…NPO 法人日本の竹ファンクラブ
http://homepage3.nifty.com/TaKe-Funclub/

探検！発見！ 耳寄りみどり

小学校のプールの「ヤゴ」救出！

今回は、身近な場所で息づく「小さな命」のご紹介です。毎年６月初旬、小学校からお声が掛かり、プールで産卵されて孵化したトンボの幼虫「ヤゴ」を、子どもたちと一緒に助け出す活動をしています。トンボが水面に尾をたたきつけるようにして産卵する姿を、見たことはありませんか？　水辺が減ってしまった都会では、一年中水が張られた学校のプールは、トンボの目には「貴重な水辺」に映るようで、多くのトンボが卵を産むのです。

もともとトンボが産卵する池や沼などには、周囲に植物が生えていて、池の中で孵化したヤゴがトンボになるときには、植物の茎を伝って水面上に出るのですが、学校のプールでは、水の上に出ることができないまま、命を落としてしまうヤゴが多いのです。そこで子どもたちと一緒にプールからヤゴを助け出し、教室でお世話をして、トンボに孵してもらうのです。もちろん、私たちもヤゴを連れ帰り、トンボになるのを見守っています。（牧野）



（写真：荻野隆臣）

四季の庭から

お台場海浜公園海上バス発着所前花壇

今年の夏は暑かった・・・いや、まだ時々暑い！くらいですね。そんな中、ガーデンの植物たちも、夏の疲れが残っていませんか？

今回の号は夏の終り～秋の発行ということもあって「夏の暑さに疲れたガーデンの手入れについて紹介できるといいね」という声が上がったので、取材と視察研修を兼ねて、東京港埠頭株式会社がコーディネートを行っている花壇ボランティア「G-g-club」の活動に参加しました。「G-g-club」では、活動日には園芸研究家の杉井志織先生が指導をくださっているので、一緒に作業をしながらいろいろなお話を伺うことができました。（取材日：2010 年 8 月 4 日）

★協力：東京港埠頭株式会社「G-g-club」

【植物の生育を理解した植物のお手入れを】

この時期に行うとよい植物の手入れとして、今回、杉井先生に教わったのは「切り戻し」という作業。ついつい、先端に花がちょっとでも咲いていると、切ってしまうには勇気がいるのですが、枝や葉が茂りすぎて蒸れてしまうのを防ぐ、植物のからだそのものの負担を軽くするなどの目的で、本当は夏前に切り戻しを行うのがよい、とのこと。

その際の切り方として「上から適当にばさばさ切っても決して間違いじゃないのよ。でもね、植物の性質による枝や葉の出方、育ち方をよく見ながら手入れをすると、見た目もきれいだし、その後の生育の姿もよくなるのよ。」とラベンダーやバジルなど、シソ科の植物を例にして、実際にカットしてくださいました。

シソ科の植物は、葉の根元から左右対称に新芽が伸びます。

【蒸れて茶色くなった部分はどんどん取り除いて】

切り戻しをしないで、風通しが悪くなった部分は、湿気と高温で蒸れてしまい、茶色く枯れたような色になってしまいます。そうなった部分は、二度と緑色には戻りませんので、ためらわず、ハサミでカットします。このときも、その後の姿をイメージしながら切ると、見た目がきれいです。限られた時間の中で、ぱっと全体を見てお手入れの優先順位を判断し、手早く作業を進めていく杉井先生。大らかながらも、真摯な瞳で植物たちと向き合う姿勢が素敵でした。（内田）

小さな芽が出ている節のすぐ上でカットすると、芽が伸びてきます。

花とみどりの お気に入り♪

Book

土谷ますみさんの「この植物をお買い！」
主婦の友社　刊
各 1,260 円（税込）

タイトルがちょっと過激で、手に取るのを躊躇される方もいらっしゃるかもしれません。実はこの本、著者による同タイトルのブログが存在し、大変人気があることから出版に至った、という代物なのです。園芸店勤務の自称「パートのおばさん」である著者が、ご自身も庭で多くの植物を育てた経験から、お店にやってくる植物を「この子はオススメ！お買い得！」「こんな風に使うと素敵よ！」と寄せ植えなどの写真とともに紹介しています。植物好きの人には、まずは「この本をお買い！」という本なのです。著者である土谷ますみさんのお庭の様子や、園芸店での講座やお仕事の様子も紹介され、こんな仕事をしてみたい、という方にも、大いに参考になるのでは？（牧野）

Shop

green gallery Gardens（グリーンギャラリーガーデンズ）
八王子市松木 15-3
TEL　042-676-7115
http://www.gg-gardens.com/

八王子はおしゃれな園芸店やガーデンセンターが多くあり、わざわざ遠方から訪ねる人も多いエリアです。今回ご紹介する「グリーンギャラリーガーデンズ」は、その中でもおススメのお店。植物の種類が豊富なのはもちろん、状態もとてもよく保たれています。その秘訣は植物の知識が豊富なスタッフと、店頭の植物のメンテナンスを集中的に行う「エコ営業日」。ヨシダフィッシュファームという観賞魚専門店も併設していることから、魚たちにとってリフレッシュのための日は大切、植物も同じことなのです。高級感漂うアンティークの雑貨や、テラコッタなどの種類も豊富で、ついお財布が緩む店。行きは「ちょっと遠いかも」でも、帰り道はきっとルンルンですよ♪（牧野）

秋の活動予定

昨年のおおた商い観光展のようす。

昨年の田園調布グリーンフェスタのようす。

◆10/16(土)・17(日)　おおた商い観光展 2010（会場：大田区産業プラザＰｉＯ）

◆10/16(土)・17(日)　第 38 回大田区生活展（会場：大田区消費者生活センター）

自分たちで育てた花苗や球根の廉価販売等を行います。

◆10/17(日)　第三回田園調布グリーンフェスタ（会場：田園調布せせらぎ公園）

花苗、球根の販売のほか、同公園での山野草育成活動を中心とした活動紹介展示と、園芸セミナーを開催します。

◆11/6(土)・7(日)　ＯＴＡふれあいフェスタ 2010（会場：平和の森公園）

自分たちで育てた花苗や球根の廉価販売を行います。

◆11/23(火・祝)　「樹木の手入れ」講習会（会場：大森南圃場　大森南 4-3）

秋～冬の樹木の手入れのポイントについて、プロから学びます！

◆11/28(日)　野菜と花の品評会＆収穫祭（会場：大田区産業プラザＰｉＯ）

区内の農家の皆さんが作った野菜の展示と即売、区内の農業の紹介や区内で採れた野菜を使った料理の試食などを行います。

★11 月は駅前花壇の植替えを行います。体験・見学希望の方は事務局までお問い合わせください。

About us･･･わたしたちについて･･･

大田・花とみどりのまちづくりの活動マップ

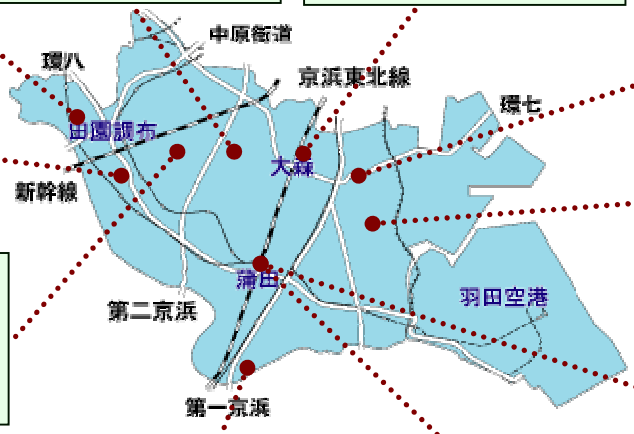
このマップの場所以外でも
◎保育園、児童館の花壇作り
◎特養の樹木の剪定
◎個人のお庭の手入れ
◎各種セミナー、イベント協力
◎学校の授業への協力
など幅広く活動しています

田園調布せせらぎ公園
・「花とみどりのつどい」を毎月第一日曜 13 時～15 時開催。花やみどりが大好きな人たちの交流の場となっています。

南馬込区民農園（2 カ所）
・区民農園の整備・管理・運営
・毎月１回、オープンデーとして管理作業や勉強会を行っています。

大森駅前花壇
・管理活動：毎週火曜日
冬季：10 時～（夏季：9 時～）
・駅前だけでなく、バス通りや商店街にも花壇があります。

区民プラザ前プランター
・管理活動：毎週木曜9時～
四季折々、きれいな花を楽しめるように心がけています。



平和の森公園
・「街山プロジェクト」として、年間を通じて様々な活動をしています。観察会や勉強会も随時行っています。

大森南圃場
・管理活動：毎週水・金曜日
9:00～16:00
・保育園児のお散歩コースや地域の方たちの学びの場にもなっています。

南久が原圃場
・管理活動：毎月第 2・4 金曜
10 時～12 時
・地域に植えるための花苗を育てる活動もしています。

六郷土手花壇
・管理活動：毎月最終日曜日
10 時～12 時
・近隣町会の皆さんにもご協力をいただいています。

区役所本庁舎前プランター
・管理活動：蒲田駅前花壇の管理作業の後に実施
・区の玄関なので、常にきれいにと、張り切っています。

蒲田駅前花壇
・管理活動：毎週火曜日9時～
・駅前だけでなく、西口、東口のバス通りの花壇も管理しています。

お問合せは気軽に
03-3734-7932　まで

会員募集中！

大田区内のあらゆるところで活動しています。花やみどりに直接触れる活動はもちろん、みどりの活動を縁の下でサポートする事務作業や、運搬のための車の運転など、さまざまな活動があります。

特に運転手を大募集中！！

あなたもぜひ、参加してみませんか？体験入会も歓迎です。お問合せは右記事務局まで。⇒⇒入会案内と最新の会員だよりをお届けします。

編集後記

今年の夏の暑さでは、植物も人もかなりのダメージを受けました。でも、こんな夏だからこそ、普段よりいっそう、みどりのチカラとありがたさを感じられたのではないでしょうか？　それにしても、当会会員はそれこそみどりに関わっているからか、元気！です。そのことにも驚いた、今年の夏でした。(F)

発行：NPO法人　大田・花とみどりのまちづくり
〒144-0051　大田区西蒲田 7-24-7-203
tel＆fax：03-3734-7932
E-mail：npoogc@yahoo.co.jp